定量報告

地域密着型金融推進計画と進捗状況【平成２３年４月～平成２４年３月】

定量情報　監督指針に基づく開示要請項目	当庫が目標とする経営指標等	平成２４年３月までの進捗状況
①経営改善支援取組み率 経営改善支援取組み先数（正常先除く）÷期初債務者数（正常先除く） （「経営改善支援取組先数」＝「期初債務者のうち、既に経営改善支援に取り組んでいる先」＋「当該期中に新たに再生計画を策定した先」）	**①経営改善支援取組先数（年間 120 先以上）** **②経営指標分析資料の還元件数（年間 1,000 件以上）**	**①平成 23 年度　120 先　抽出** **②1,245 件**(財務分析総合表　674 件) (財務分析一覧表等 571 件)
②再生計画策定率 再生計画策定先数（正常先除く）÷経営改善支援取組み先数（正常先除く） （「再生計画策定先数」＝「中小再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCC の支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」）	**③事業再生について外部機関との連携先数（年間 10 先以上）**	○のべ 17 先に取り組みました。 （主な取組内容） ・愛知県信用保証協会による経営診断 3 先実施 ・「しんきん環境事業イノベーション寄附講座」を活用した、専門家派遣 2 先実施 ・名古屋文理大学 PR 学科教授によるマーケティング指導 5 先実施
③ランクアップ率 ランクアップ先数（正常先除く）÷経営改善支援取組み先数（正常先除く） （「ランクアップ先数」＝当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載）	**④ランクアップ先数（年間 10 先以上）**	○9 先ランクアップしました。
④創業・新事業支援融資実績 創業・新事業支援融資実績（**件数・金額**） （「創業・新事業支援融資実績」＝「専用商品実績」＋「プロパー融資のうち資金使途が創業・新事業支援のもの」（実績把握が可能な場合））	**⑤創業・新事業支援融資先数（年間 30 先以上）**	○30 先を実行しました。
	⑥中小企業施策等認定先数（年間 20 先以上）	○24 先の認定を受けました。 （主な認定内容） ・地域資源認定先数　2 先 ・経営革新認定先数　7 先 ・ものづくり生産管理支援事業　6 先
⑤個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資への取組みの計数 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績（**件数・金額**） （「個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資」とは「動産・債権譲渡担保融資」、「財務制限条項活用融資」等、各金融機関が重点的に取組んでいる項目に関する計数を選択して開示する）	**⑦売掛債権担保融資、ＡＢＬ、にししん機械担保ローン等の取扱件数　（年間 5 先以上）**	取扱いがありませんでした。

経営改善支援の取組み実績進捗状況

【平成23年4月～平成24年3月】

（単位：先数）

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み先 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ	経営改善支援取組み率 ＝α／A	ランクアップ率 ＝β／α	再生計画策定率 ＝δ／α
正常先 ①		4,913	0		0	0	0.00%		0.00%
要注意先	うちその他要注意先 ②	677	113	8	76	113	16.69%	7.08%	100.00%
要注意先	うち要管理先 ③	15	3	1	2	3	20.00%	33.33%	100.00%
破綻懸念先 ④		78	4	0	4	4	5.13%	0.00%	100.00%
実質破綻先 ⑤		43							
破綻先 ⑥		12							
小 計（②～⑥の計）		825	120	9	82	120	14.55%	7.50%	100.00%
合 計		5,738	120	9	82	120	2.09%	7.50%	100.00%

定性報告

【平成 23 年度　地域密着型金融推進計画】

項　目	具体的取組み策	平成 24 年 3 月までの進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化		
創業・新事業支援	(1)創業支援、新事業支援融資の推進	・創業･新事業支援融資として 30 先 840 百万円実行しました。
	(2)中小企業基盤整備機構、営業エリア内の商工会議所･商工会等の地域支援機関と連携を強化し、経営革新計画、地域資源活用プログラム、農商工連携等の中小企業支援施策の認定取得を支援 ＊「地域資源活用プログラム」とは、地域資源を活用した新事業に進出する中小企業に対し、補助金等の優遇措置を講ずる国の支援制度です。 ＊「農商工連携」とは、農林漁業者と連携して新事業に取り組む中小企業に対し、補助金等の優遇措置を講ずる国の支援制度です。	・「経営革新計画」の認定を、当庫取引先 7 社が受けました。 ・「地域資源活用プログラム」の認定を、当庫取引先 2 社が受けました。 〈認定概要〉 A 社は染色加工業を営み、新事業として染料かくはん技術を活かした投てき消火器を開発。また B 社は産業用ロボットの省力設備機器の設計･製造業を営み、新製品として自動交換可能なバリ取り先端工具を開発。いずれも中小機構の専門家と共同で経営計画の立案や申請書作成等のサポートを行い、平成 23 年 9 月に認定を受けました。
経営改善支援	(1)ビジネスマッチング支援 ①課題解決支援に向けてビジネスマッチング情報の収集及び活用体制を強化 ②取引先による各種ビジネスフェアへの出展、参加の推進	① 本年度は、143 件のビジネスマッチング情報を収集し庫内情報共有システムに登録すると共に、81 件のマッチング実績がありました。 ② 10 月 28 日の第 7 回「しんきんビジネスフェア 2011」に、当庫取引先 14 社が出展しました。
	(2)経営改善に取組む取引先企業に対する改善計画の策定及び改善に向けた取組みへの支援 ①重点課題の解決に主眼を置いた、定期的な改善計画の進捗状況把握による支援強化 ②財務分析等の経営指標分析資料の還元件数の増加 ③経営課題を解決するための有用な情報（中小企業支援施策ほか）の提供	① 支援先として前年度より継続先 94 社を含む 120 社を選定し、経営改善活動に対する支援を実施しました。 ② 経営指標分析資料のうち財務分析一覧表について、取引先ニーズに基づき 7 月に改訂し、当該企業のキャッシュフロー状況･返済能力等が把握可能な帳票を追加しました。 経営指標分析資料は、のべ 1,245 先(財務分析総合表を 674 先、財務分析一覧表を 571 先)へ還元しました。 ③ 本年度は前年度より引き続き中小企業支援施策の活用による課題解決支援に積極的に取組み、企業支援部が各関係機関等より情報収集し、庫内情報システムを通じた各営業店への発出による情報共有を行っております。
事業再生	(1)経営改善支援取組先に対する中小企業診断士協会･中小企業再生支援協議会等の外部機関と連携した再生計画の策定や事業再生の検討	・愛知県信用保証協会の経営診断を、中小企業診断協会と連携の上、3 社(建設業者･製綱業者)に実施しました。 ・「しんきん環境事業イノベーション寄附講座」を活用した専門家派遣を、2 社(いずれも製造業者)に実施しました。 ・23 年 7 月に産学連携協定を締結した名古屋文理大学より教授を招き、PR に関するアドバイスを 5 社に実施しました。
事業承継	(1)事業承継支援	・相談案件はありませんでした。
	(2)M＆A情報の積極展開	・信金キャピタル㈱の「M&A 案件情報」に、取引先 1 社の情報を登録しました。

項　目	具体的取組み策	平成 24 年 3 月までの進捗状況
経営相談	(1)当庫主要取引先をメンバーとする、新組織の立上げ及びフォロー	・新組織は 24 年度中の設立を目指し、現在検討しております。
	(2)お客さまの多様なニーズに応じた各種セミナー・講演会等の開催	・中小企業のお客さまを対象とした研修・セミナーを、6 回開催しました。 4 月 21 日　取引先新入社員のビジネスマナー研修(講師:当庫研修課課長) 4 月 25 日　補助金・助成金等に関するセミナー 9 月 27 日　企業のタイ進出の可能性及び留意点等に関するセミナー 10 月 4 日　観光・地域振興に関する専門家を招聘し、西尾市の観光産業化の可能性に関するセミナー 10 月 20 日　4 月に開催したビジネスマナー研修のフォローアップ研修(講師:当庫研修課課長) 1 月 26 日　今年の経済展望等に関するセミナー
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	(1)売掛債権担保融資、ABL、にししん機械担保ローン等の取扱推進	・取扱いがありませんでした。
中小企業に適した資金供給手法の徹底	(1)私募債の推進	・5 先 710 百万円取扱いました。(うちＥＣＯ私募債 3 先 350 百万円)
	(2)コベナンツを適正に活用したシンジケート・ローンの取扱推進	・シンジケート・ローンは貸付人として参加し、本年度は 2 先取扱いました。
3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
顧客ニーズを反映させた商品開発等	(1)地球環境、経済環境等を重視した商品の開発	・融資商品 ・地球環境保全と経済活性化を促進するため、前年度に引続き「ECO カーローン」・「ECO リフォームローン」・「愛知県産材使用住宅ローン」を販売し、3 商品合計で 248 件 452 百万円取扱いました。 ・円高で企業収益が悪化している中小企業者支援のため、「経済環境対策特別資金」を発売し、140 先 6,812 百万円取扱いました。 ・貸金業法の改正による総量規制に対応するため、前年度に引続きフリーローン「フレックス」を販売し、424 先 319 百万円取扱いました。 ・預金商品 ・地域の緑作りや森林整備への貢献を目的に、環境定期預金「緑の恵」を発売しました。期間中に 8,000 百万円販売し、販売総額の 0.01%にあたる 80 万円を愛知県緑化推進委員会に寄付しました。
	(2)顧客ニーズに則した預り資産商品の提供	・世界経済全体が減速懸念を示し運用環境も悪化傾向にある中、お客さまの安全志向の高まりを受け、本年度は定額個人年金が総販売額の 82.7%(前年度対比＋4.8%)を占めました。
	(3)休日無料相談会、資産運用セミナーの開催	・休日無料相談会は予約制としており、相談内容も年金の受給手続き、ローン相談、資産運用相談とし、4 店舗で、のべ 58 回開催しました。 ・確定申告時期を控えたお客さま向けに、無料税務相談会を 4 店舗で延べ 4 回開催しました。 ・中小企業金融の円滑化などの申し出に対応するための相談や、住宅ローンの返済方法の見直し等の相談を希望されるお客様に対し、引続き全店舗に相談窓口を設置しました。また 7 月と 12 月には、土曜日にも相談窓口を開設しました。(7 月・・・4 店舗　延べ 16 回、12 月・・・4 店舗　延べ 16 回)

<table>
<tr><th>項　目</th><th>具体的取組み策</th><th>平成 24 年 3 月までの進捗状況</th></tr>
<tr><td rowspan="2">金融経済教育への取組み</td><td>(1) 金融教育の実施</td><td>① 地域の小学生(保護者含む)、中学生、高校生に対し以下の通り職場体験学習、金融教育を実施しました。
＜職場体験学習＞
・5 月 12 日　鶴城丘高等学校　8 名　ｼﾞｮﾌﾞｼｬﾄﾞｳ
・5 月 26 日　依佐美中学校　1 名　職場体験学習
・6 月 3 日　安城南高等学校　2 名　職場体験学習
・6 月 15,16 日　六ツ美中学校　2 名　職場体験学習
・8 月 4 日　寺津中学校　2 名　職場体験学習
・10 月 11,12 日　鶴城中学校　5 名　職場体験学習
・10 月 20,21 日　平坂中学校　1 名　職場体験学習
＜金融教育＞
・8 月 2 日　西尾市内小学生(保護者同伴)　42 名　親子金融教室
・10 月 6 日　矢田小学校　120 名　金融教育
・10 月 30 日　東幡豆小学校　38 名　金融教育</td></tr>
<tr><td>(2) 経済教育の実施</td><td>② 昨年度に引き続き「西三河ハイスクール・起業家コンテスト 2011」を開催しました。
・参加高校　：専門学科がある近隣 10 高校
※上記各校につき 1～2 チーム、計 15 チームが参加
・実施期間　：平成 23 年 6 月 1 日(水)～11 月 30 日(水)
・審査発表会：日時　：平成 24 年 1 月 21 日
・審査方法　：名古屋大学・家森教授を委員長とする 5 名の審査委員が、事前提出書類及び当日プレゼン発表の内容をもとに、優れたチームを表彰
・審査結果　：最優秀賞　高浜高校　株式会社まごのて
「デイサービス及び健康弁当、おやつの開発、販売」
※ 1 日限定のデイサービス実施及び健康長寿弁当・おやつの販売</td></tr>
</table>